



知事・所長等	知事表彰	事務所名	益田県土整備事務所		工事名	(一) 美都澄川線（澄川工区）防安交付金（災害防除）工事 第8期		
部門	土木部門	工種	道路	受注者名	広栄建設（株）	主任技術者	堀江 貴行	



知事・所長等	知事表彰	事務所名	益田県土整備事務所		工事名	白上川 防災安全交付金（総流防）工事 第4期		
部門	土木部門	工種	河川	受注者名	日新建設（株）		監理技術者	佐々木 正和



知事・所長等	知事表彰	事務所名	益田県土整備事務所	工事名	益田港 防災安全交付金（港湾改修）工事	防波堤（北）	第5期（補正）
部門	土木部門	工種	港湾空港	受注者名	大畑建設（株）	監理技術者	竹内 宏



知事・所長等	知事表彰	事務所名	益田県土整備事務所		工事名	中遠田地区 事業間連携砂防等事業（地すべり）工事 第7期（補正）		
部門	土木部門	工種	砂防	受注者名	島建コンサルタント（株）	主任技術者	古山 聡	



知事・所長等	知事表彰	事務所名	益田県土整備事務所		工事名	元町人麿線 防災安全交付金（街路） 第15期工事		
部門	土木部門	工種	都市計画	受注者名	中国道路（株）		監理技術者	鞆工 修



知事・所長等	知事表彰	事務所名	益田県土整備事務所	工事名	令和5年度 赤松・神出堤地区（赤松堤）ため池整備工事		
部門	農林水産部門	工種	農業土木	受注者名	（株）野村組	監理技術者	小澄 和憲

(主) 益田阿武線(中地橋)防安交付金(橋梁耐震)工事調査設計業務(補正)

①業務目的

本業務は、主要地方道益田阿武線に架橋された中地橋(平成元年竣工)において、大規模地震に対応するための耐震補強設計を行った。道路橋示方書に準拠して耐力照査を行い、施工性・経済性・維持管理に配慮した最適な耐震補強設計を行い、施工に必要な設計図等を作成した。

②業務期間

令和7年3月27日～令和8年3月25日

③業務組織



④業務位置



⑤橋梁諸元

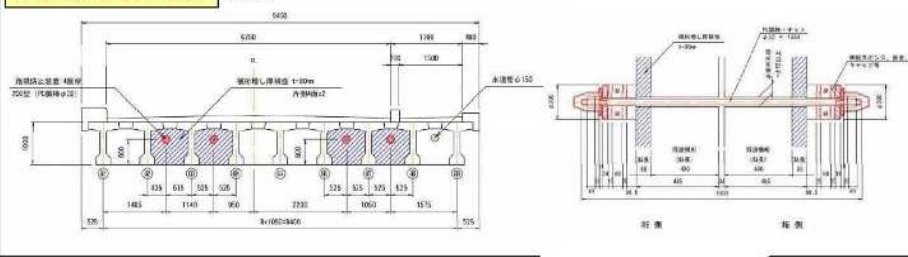
名称: 中地橋(ちゅうちばし)
路線: 主要地方道益田阿武線
位置: 益田市白上町地内
竣工: 平成元年3月
規格: 1等橋 (TL-20)
形式: PC2径間単純プレテンションT桁橋
橋長: L=41.05m(支間長 19.874m+19.874m)
有効幅員: W=8.45m (0.75+2x2.75+0.50+1.70)
斜角: 右70°58'
支保条件: A1(Mov), P1(Fix+Mov), A2(Fix)
橋台形式: 逆T式橋台 2基
橋脚形式: 小柱柱出し式(直接基礎) 1基

耐震補強工法一覧表

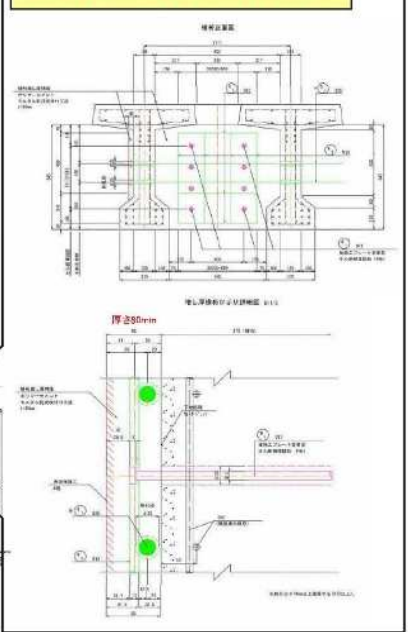
補強工種	補強工法
橋脚補強工	ポリマーセメントモルタル乾式吹付工
橋台補強工	橋台: 下部工突起工+縁端掘削工+横桁補強工 橋脚: 桁間連結工+横桁補強工(ポリマーセメントモルタル乾式吹付工)
落橋防止システム	水平力分担構造: 上下部工突起工(縦街ピン+傾斜プレート)(200~400kN用)



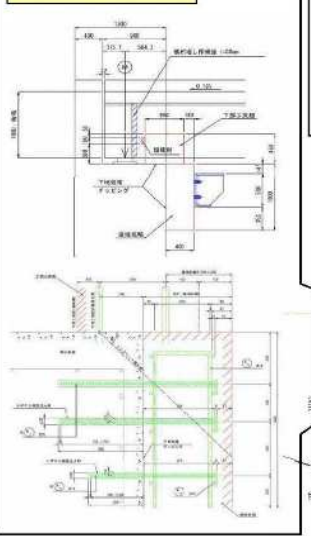
橋脚落橋防止構造: 桁間連結工 断面図



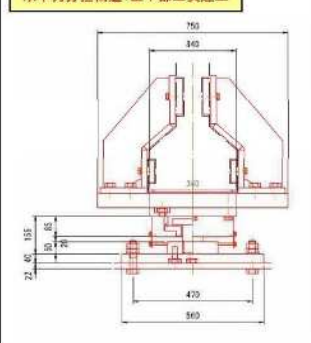
橋台・橋脚落橋防止構造: 横桁補強工(ポリマーセメントモルタル乾式吹付工)



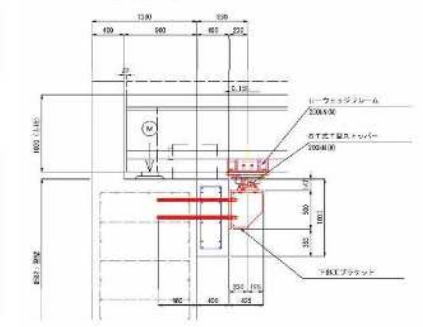
橋台落橋防止構造: 下部工突起工+縁端掘削工



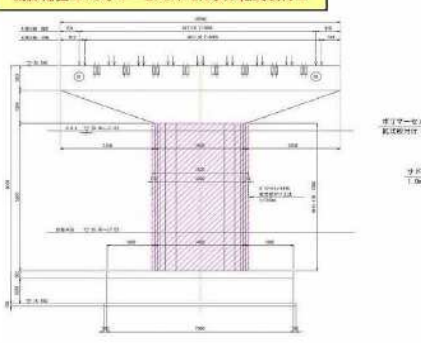
水平力分担構造: 上下部工突起工



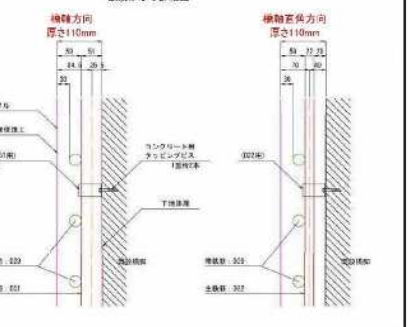
側面図



橋脚補強工: ポリマーセメントモルタル乾式吹付工



鉄筋かぶり詳細図



知事・所長等	知事表彰	事務所名	益田県土整備事務所	業務名	(主) 益田阿武線(中地橋)防安交付金(橋梁耐震)工事調査設計業務(補正)
部門	土木設計業務	受注者名	(株) 大建コンサルタント	管理技術者	三浦 洋治



知事・所長等	所長表彰	事務所名	益田県土整備事務所		工事名	(主) 益田阿武線 (須子工区) 交通安全補助 第10期工事		
部門	土木部門	工種	道路	受注者名	中国道路 (株)		主任技術者	大畑 雄暉



知事・所長等	所長表彰	事務所名	益田県土整備事務所	工事名	(主) 津和野田万川線 道路災害復旧工事 (6 災第 1 7 0 号)			
部門	土木部門	工種	道路	受注者名	(株) 野村組	主任技術者	—	



知事・所長等	所長表彰	事務所名	益田県土整備事務所		工事名	(主) 津和野田万川線 (田二穂工区) 総合交付金 (改築) 工事 (山入2期) (補正)		
部門	土木部門	工種	道路	受注者名	堀建設 (株)		主任技術者	藤井 有信



知事・所長等	所長表彰	事務所名	益田県土整備事務所	工事名	(主) 津和野田万川線 (部栄工区) 防安交付金 (改築) 工事 (第 1 2 期) (補正)			
部門	土木部門	工種	道路	受注者名	前田建設 (有)	主任技術者	岡本 正明	



知事・所長等	所長表彰	事務所名	益田県土整備事務所		工事名	(主) 益田阿武線 (高角橋) メンテ補助 (橋梁修繕) 工事 第3期		
部門	土木部門	工種	道路	受注者名	開盛建設 (株)	主任技術者	山口 清	



知事・所長等	所長表彰	事務所名	益田県土整備事務所		工事名	(一) 柿木津和野停車場線 (A006工区) 防安交付金 (災害防除) 工事		
部門	土木部門	工種	道路	受注者名	(株) 大谷商工		主任技術者	—



知事・所長等	所長表彰	事務所名	益田県土整備事務所		工事名	国道４８８号（澄川工区） 防安交付金（改築）工事 第１１期		
部門	土木部門	工種	道路	受注者名	徳栄建設（株）		監理技術者	熊谷 昇



知事・所長等	所長表彰	事務所名	益田県土整備事務所	工事名	(主) 萩津和野線（寺田工区）県単舗装整備工事			
部門	土木部門	工種	道路	受注者名	昌和道路（株）		主任技術者	古山 完



知事・所長等	所長表彰	事務所名	益田県土整備事務所		工事名	津和野川 防安交付金（総流防）工事（第8期）（11月補正）		
部門	土木部門	工種	河川	受注者名	堀建設（株）		主任技術者	石川 空良



知事・所長等	所長表彰	事務所名		益田県土整備事務所		工事名	令和5年度（補正） 吉原坂折地区 区画整理工事				
部門	農林水産部門	工種	農業土木		受注者名	徳栄建設（株）			監理技術者	椿 博士	



工事名	令和6年度 林地荒廃防止事業 藤治ヶ谷地区 工事
工 種	着手前及び完成写真
測 点	

竣工

知事・所長等	所長表彰	事務所名	益田県土整備事務所		工事名	令和6年度 林地荒廃防止事業 藤治ヶ谷地区 工事			
部門	農林水産部門	工種	森林土木	受注者名	堀建設（株）			主任技術者	藤井 摩朗



知事・所長等	所長表彰	事務所名	益田県土整備事務所		工事名	令和6年度（補正） 緊急予防治山事業 三山谷地区 工事		
部門	農林水産部門	工種	森林土木	受注者名	開盛建設（株）		主任技術者	三浦 登志行



知事・所長等	所長表彰	事務所名	益田県土整備事務所	工事名	令和6年度（補正）林業生産基盤道開設事業 春日山線 舗装工事			
部門	農林水産部門	工種	森林土木	受注者名	(有) 宗正建設		主任技術者	原田 辰也

国道 191 号外 8 線 道路防災カルテ点検(定期点検)業務その 1

1. 業務概要

本業務は「落石に係る道路防災計画(島根県土木部)」に基づき、既往の安定度調査業務において作成された防災カルテによる点検及び防災カルテの修正を行うものである。また、各種変状を把握し、計画的・効果的な対策等に繋げ、落石等による災害発生を未然に防ぐことを目的とする。

2. 業務場所

益田市内 9 路線

3. 契約工期

自: 令和 7 年 5 月 21 日

至: 令和 8 年 2 月 27 日

4. 業務数量

- ・定期点検
防災カルテによる点検 242 箇所
防災カルテ修正と報告書作成 242 箇所
- ・緊急対応(落石点検) 3 箇所

5. 定期点検

5.1 点検対象

本業務では、「落石・崩壊」箇所を対象として作成された既往の防災カルテを用いて、「要対策」及び「カルテ対応」箇所の点検を行った。

5.2 変化箇所状況

242 箇所の点検を実施した結果、抜け落ち等の変化が認められた箇所は軽微なものを含めると 96 箇所、全体の約 40%であった。変化がない箇所は 146 箇所であった。

表 1 防災カルテ点検結果の変状箇所の状況

路線名	点検箇所数	緊急対策 必要箇所	変化の比較的大きな箇所・比率		変化の軽微な箇所・比率	
			箇所数	比率(%)	箇所数	比率(%)
国道191号	34	0	5	14.7	7	20.6
(主)浜田美都線	10	0	1	10.0	3	30.0
(主)三隅美都線	15	0	2	13.3	1	6.7
(主)益田澄川線	32	0	2	6.3	4	12.5
(一)益田三隅線	11	0	0	0.0	2	18.2
(一)美都匹見線	76	0	17	22.4	26	34.2
(一)波佐匹見線	48	0	7	14.6	13	27.1
(一)野地鎌手停車場線	7	0	0	0.0	3	42.9
(一)東仙道津田停車場線	9	0	0	0.0	3	33.3
合 計	242	0	34	14.0	62	25.6

※ 変化が比較的大きな箇所・・・径 0.3m 以上の変状、および対応が望ましい箇所

※ 変化が軽微な箇所・・・径 0.3m 未満の変状箇所

5.3 点検結果の整理 (箇所: 点検の区間に同じ、着目点: 箇所内の調査対象物)

- ① 緊急対策必要箇所: 0 箇所
- ② 変化が比較的大きな箇所: 34 着目点
- ③ 変化の軽微な箇所: 62 着目点
- ④ 新規着目点箇所: 3 着目点
- ⑤ 対策完了箇所: 2 箇所

6. 緊急対応(落石点検)

追加指示による緊急落石点検は、益田澄川線 1 箇所、美都匹見線 2 箇所で行った。

益田澄川線: 緊急対応箇所(例)



令和 6 年 9 月 13 日撮影 崩壊前

令和 7 年 6 月 20 日撮影 崩壊後

令和 7 年 7 月 18 日撮影 緊急対策後

写真 1 緊急対策が必要な箇所の報告例(3 箇所中の 1 箇所)

事例の集積により、今後の点検の見直しに繋げることが重要と考える。

7. 業務執行管理と点検調査のための創意工夫

- ① 点検者の相違による結果のばらつき、及び変状状況の把握と判定ムラをなくすため、点検者は道路防災点検技術講習会受講者とした。更に現地で目合わせを行い、統一した適性評価の周知を図った。(業務の目的を十分理解し、成果を得るための確かな手順・手法)
- ② 携帯電波が圏外となる箇所での緊急通信のため、衛星携帯を所持した。(屋外作業において、従事者および第三者の安全確保に努めた)
- ③ 発注者より指示を受けた落石事象「緊急対応」に対して、軌跡や発生源を調査し、資料を取りまとめ、速やかに報告を行った。(監督職員の指示事項に迅速に対応)
- ④ 落石事象について、道路の維持業務の受注者を含めた三者で確認立会を実施し、対策の方法を検討し提案した。(業務の課題とその解決策の提案)
- ⑤ 業務の進捗と点検箇所の状況を把握するためのチェックリストを作成し、業務状況の把握を行うとともに、工程管理に努めた。(業務の進捗を図るための工夫)

8. 今後の課題

- ①点検精度の向上: 林内における危険対象物位置の明確化、崩壊等の新規発生あるいは変化の生じた着目点の指摘、緊急除去が必要となる浮石・転石の抽出。
- ②新規着目点箇所: 点検時に確認された不安定な露岩及び浮石・転石については、今後、新規着目点として点検を実施して行く事が望ましい。(写真 1、写真 2)
- ③対策完了箇所: 災害防除設計箇所の対策が完了した範囲は、点検対象外と考える。(写真 3)



写真 1 新規着目点箇所(例)



写真 2 新規着目点箇所(例)



写真 3 対策完了箇所(例)

- ④追加対策工の提案: 既設対策工箇所の斜面において、危険度が高い浮石・転石が新たに確認される場合がある。状況に応じて、点検範囲の拡大、除去及び予防工等の提案が必要と思われる。



写真 4 既設対策工箇所



写真 5 不安定な浮石の確認



写真 6 落下方向

知事・所長等	所長表彰	事務所名	益田県土整備事務所	業務名	国道 191 号外 8 線 道路防災カルテ点検 (定期点検) 業務 その 1
部門	地質調査・測量・調査業務	受注者名	(株) 大建コンサルタント	管理技術者	藤井 浩人

令和6年度（補正）西石見地区 4工区法面設計業務

業務概要書

令和 8 年 2 月

[illegible]

図 1.4-1 業務実施フロー（のり面設計、落石対策工設計）



2-1 業務位置図（業務仕様書より引用）

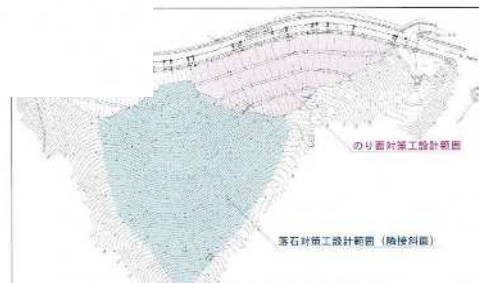


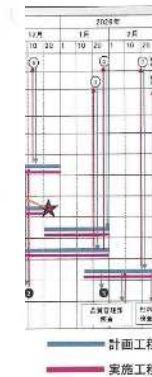
図 1.2-2 のり面設計及び落石対策工設計範囲

计划资金用途			
	工作地点/职位		
		自行申报资金来源/用途	

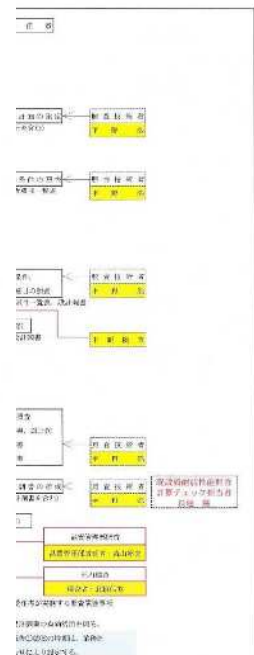
株式会社ワールド測量設計

某修数量					
项 目	单位	单 位			备 注
		为元	为元	为元	
	万m	—	元	元	元
	万m	—	元	元	元
	万m	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元
	元	—	元	元	元

圖 1.4-3 業務工程表 (実績追加)



株式会社ワールド測量設計



成果物は、「業務マニュアル」に基づき、業務中間時における中間検査、ならびに成果物完成時における最終社内検査を検査責任者により実施する。

[illegible]

知事・所長等	所長表彰	事務所名	益田県土整備事務所	業務名	令和6年度（補正）西石見地区 4工区法面設計業務		
部門	農林水産設計		受注者名	(株) ワールド測量設計		管理技術者	—



【表彰理由】

長年にわたり県管理道路の除雪業務に携わった、その功績は顕著である。
 実施路線である(主)鹿野吉賀線は、吉賀町の蓼野、朝倉、注連川地区の地域住民にとっての生活道路となっており、その機能確保のための除雪は、冬期において最も重要な業務である。
 この除雪業務を15年以上継続し、冬期のライフラインを支えていることは表彰に値する。

表彰区分	所長表彰	事務所名	益田県土整備事務所	業務名	県管理道路除雪業務		
部門	地域貢献	工種	除雪業務	受注者名	(有) 中島建設	代表取締役	三浦 和春



【表彰理由】

吉賀町内(旧柿木、六日市)の道路及び河川維持管理業務を複数回受注しており、昨年度は上半期の道路維持管理業務(柿木)を受注された。
緊急時の昼夜を問わない要請にも迅速かつ的確な対応で災害等の発生を未然に防止するとともに、地元調整も適切かつスピーディに行われ、地域住民の安全、安心な暮らしの確保に寄与したことは表彰に値する。

表彰区分	所長表彰	事務所名	益田県土整備事務所	業務名	県管理道路・河川維持管理業務		
部門	地域貢献	工種	維持管理業務	受注者名	(有) 協栄建設	代表取締役	山下 新吾